

- 1 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- 兵庫商店から商品 ¥680,000 を仕入れ、代金のうち ¥250,000 は、さきに得意先和歌山商店から受け取っていた約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。
 - 松江市役所から固定資産税の納税通知書を受け取り、ただちにこの税額 ¥290,000 を現金で納付した。
 - 店舗を建てるため、土地を購入し、この代金 ¥5,100,000 と登記料や手数料など ¥300,000 をともに小切手を振り出して支払った。
 - 出張中の従業員から当店の当座預金口座に ¥160,000 の振り込みがあったが、その内容は不明である。
 - 島根商事株式会社の株式20株（1株の帳簿価額 ¥70,000）を1株につき ¥76,000 で売却し、代金は現金で受け取った。
 - 店主が、当期に仕入れた原価 ¥15,000 の商品を私用のために引き出した。

- 2 滋賀商店の下記の取引について、
- 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の売掛金勘定に転記しなさい。
 - 売上帳・売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。
- ただし、
- 商品に関する勘定は3分法によること。
 - 仕訳帳の小書きは省略する。
 - 元丁欄には、売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1 月 7 日 大阪商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥100,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

A 品 800個 @ ¥650 ¥520,000

1 月 6 日 奈良商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 500個 @ ¥850 ¥425,000

B 品 400" " ¥900 ¥360,000

1 月 8 日 奈良商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

B 品 30個 @ ¥900 ¥27,000

2 月 4 日 京都商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥500,000 は同店振り出しの小切手 #8 で受け取り、残額は掛けとした。

B 品 600個 @ ¥900 ¥540,000

C 品 700" " ¥500 ¥350,000

2 月 9 日 京都商店から売掛金の一部について、次の約束手形 #3 で受け取った。

No. 3 約束手形		滋賀県大津市御陵町2-1 滋賀商店 滋賀 太郎 殿		支払期日 平成 ○ 年 3 月 29 日	京 都 2601 0149-026
収 入 印 紙 200円 京 都	金額	¥380,000		支払地 京都府京都市	支払場所 株式会社 全商銀行京都支店
	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします				
平成 ○ 年 1 月 29 日		振出地 京都府京都市伏見区向島西定請120			
住所 京都商店		振出人 京都商店			
京 都		京 都 一 郎			

- 3 中国商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空白のままにしておくこと。

取 引

1 月 23 日 山口広告社に広告料 ￥79,000 を現金で支払った。(伝票番号 No. 18)

11 日 商品代金として広島商店あてに振り出していた約束手形 #27 ￥480,000 が支払期日となり、当店の当座預金口座から支払ったとの通知を取引銀行から受けた。(伝票番号 No. 9)

- 4 次の各問いに答えなさい。

- (1) 下記の商品有高帳の (ア) と (イ) の金額を求めなさい。
a. 岡山商店は、次の取引を商品有高帳に記入した。ただし、先入先出法によっている。
1 月 10 日 鳥取商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 200 個 @ ￥450 ￥90,000

		商 品 有 高 帳						単位 個		
(先入先出法)		品 名 A 品								
平成 ○年	摘 要	受 入			引 渡			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1/1	前月繰越	100	350	35,000				100	350	35,000
		150	360	54,000				150	360	54,000
10	鳥取商店				()	()	()			
					()	()	()	()	()	(ア)

- b. 鳥取商店は、次の取引を商品有高帳に記入した。ただし、移動平均法によっている。
1 月 10 日 岡山商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品 200 個 @ ￥450 ￥90,000

		商 品 有 高 帳						単位 個		
(移動平均法)		品 名 A 品								
平成 ○年	摘 要	受 入			引 渡			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1/1	前月繰越	100	420	42,000				100	420	42,000
10	岡山商店	()	()	()				()	(イ)	()

- (2) 次の文の [] のなかに、適当な金額を記入しなさい。
関西商店の期首の資産総額は ￥3,600,000 負債総額は ￥1,600,000 であり、期末の資産総額が ￥3,850,000 であった。なお、この期間中の費用総額が ￥4,210,000 当期純利益が ￥740,000 であるとき、収益総額は [ア] で、期末の負債総額は [イ] である。
(3) 次の各文の [] のなかに、下記の語群のなかから、もっとも適当なものを選び、その番号を記入しなさい。
a. 帳簿を締め切る前に、決算の概要などを知りたい場合、残高試算表から損益計算書と貸借対照表を作成する手続きを一つにまとめた表を作成することがある。この一覧表を [ア] という。
b. 為替手形を引き受けた人は、手形債務を負うことになるので、その債務額を [イ] 勘定の貸方に記入する。

1. 棚 卸 表 2. 売 掛 金 3. 支 払 手 形 4. 受 取 手 形 5. 精 算 表

- 5 近畿商店 (個人企業 決算年/回 12月31日) の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 整理仕訳を示しなさい。
(2) 貸倒引当金勘定・売上勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、日付・相手科目・金額を記入すること。
(3) 損益計算書を完成しなさい。

元帳勘定残高

現 金	￥ 621,000	当 座 預 金	￥ 1,237,000	売 掛 金	￥ 2,450,000
貸 倒 引 当 金	18,000	繰 越 商 品	460,000	貸 付 金	700,000
備 品	910,000	買 掛 金	2,194,000	前 受 金	120,000
資 本 金	3,500,000	売 上	7,580,000	受 取 利 息	21,000
仕 入	4,890,000	給 料	1,320,000	支 払 家 賃	768,000
消 耗 品 費	50,000	雑 費	36,000	現 金 過 不 足	9,000
				(貸方残高)	

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ￥490,000
b. 貸倒引当金 売掛金残高の2%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
c. 備品減価償却高 取得原価 ￥1,300,000 残存価額は取得原価の10% 耐用年数は6年とし、定額法による。
なお、直接法によって記帳している。
d. 現金過不足勘定の ￥9,000 は雑益とする。

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

2 (1)

仕 訳 帳

1

[illegible]

帳 元 定 勘 総

壳 挂 金

1

[illegible]

(2) (注意) 売上帳・売掛金元帳は締め切ること。

帳 上 壳

1

[illegible]

奈良商店

帳元金掛売

1

平成 ○年	摘要	借方	貸方	また貸 借は	高残
/ /	前月繰越	120,000		借	120,000

京 都 商 店

2

[illegible]

試 験 場 校	受 験 番 号
---------	---------

3 級の 1 得点

3

入金伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目	入金先	金額	殿
摘要			
合計			

出金伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目	支払先	金額	殿
摘要			
合計			

振替伝票				No. _____			
平成○年 月 日							
勘定科目	借方	勘定科目	貸方				
合計		合計					
摘要							

4

(1)	ア	イ	(2)	ア	イ	(3)	ア	イ
	¥	¥		¥	¥			

5

(1)	借方	貸方
a		
b		
c		
d		

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

貸倒引当金		売上	
4		11	
6/12 売掛金	32,000	1/1 前期繰越	50,000
			7,580,000

(3)

損益計算書			
近畿商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
売上原価		売上高	
給料		受取利息	
()		()	
()			
支払家賃			
消耗品費			
雑費			
()			

試験場校	受験番号

3級の2得点

総得点

1	借 方	貸 方
a	仕 入 680,000	受 取 手 形 250,000 買 掛 金 430,000
b	租 税 公 課 (または固定資産税) 290,000	現 金 290,000
c	土 地 5,400,000	当 座 預 金 5,400,000
d	当 座 預 金 160,000	仮 受 金 160,000
e	現 金 1,520,000	有 価 証 券 (または売買目的有価証券) 1,400,000 有 価 証 券 売 却 益 120,000
f	引 出 金 (または資 本 金) 15,000	仕 入 15,000

2 (1) 仕 訳 帳 1

平成 〇年	摘 要	仕 字	借 方	貸 方
/ /	前期繰越高	✓	8,410,000	8,410,000
7	(仕 入) 諸 口		520,000	
	(現 金)			100,000
	(買 掛 金)			420,000
16	(売 掛 金)	4	785,000	
	(売 上)			785,000
18	(売 上)		27,000	
	(売 掛 金)	4		27,000
24	諸 口 (売 上)			890,000
	(現 金)		500,000	
	(売 掛 金)	4	390,000	
29	(受取手形)		380,000	
	(売 掛 金)	4		380,000

総 勘 定 元 帳 4
売 掛 金

平成 〇年	摘 要	仕 字	借 方	平成 〇年	摘 要	仕 字	貸 方
/ /	前期繰越	✓	640,000	1 18	売 上	1	27,000
16	売 上	1	785,000	29	受取手形	"	380,000
24	売 上	"	390,000				

(2) (注意) 売上帳・売掛金元帳は締め切ること。

売 上 帳 1

平成 〇年	摘 要	内 訳	金 額
1 16	奈良商店 掛け		
	A 品 500個 @ ¥850	425,000	
	B 品 400 " " ¥900	360,000	785,000
18	奈良商店 掛け戻り		
	B 品 30個 @ ¥900		27,000
24	京都商店 小切手・掛け		
	B 品 600個 @ ¥900	540,000	
	C 品 700 " " ¥500	350,000	890,000
31	総売上高		1,675,000
"	売上戻り高		27,000
	純売上高		1,648,000

売 掛 金 元 帳

奈 良 商 店 1

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	120,000		借	120,000
16	売り上げ	785,000		"	905,000
18	売上戻り		27,000	"	878,000
31	次月繰越		878,000		
		905,000	905,000		

京 都 商 店 2

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越	520,000		借	520,000
24	売り上げ	390,000		"	910,000
29	回 収		380,000	"	530,000
31	次月繰越		530,000		
		910,000	910,000		

3

入金伝票		No.
平成○年 月 日		
科目	入金先	金額
摘要		
合計		

出金伝票		No.
平成○年 1 月 23 日		18
科目	支払先	金額
広告料	山口広告社 殿	
摘要		
支払い		7 9 0 0 0
合計		7 9 0 0 0

振 替 伝 票												No. 9							
平成〇年 1 月 23 日																			
勘 定 科 目				借 方				勘 定 科 目				貸 方							
支 払 手 形				4	8	0	0	0	0	当 座 預 金				4	8	0	0	0	0
合 計				4	8	0	0	0	0	合 計				4	8	0	0	0	0
摘要		広島商店あて約束手形#27期日支払い																	

4

(1)	ア	イ	(2)	ア	イ	(3)	ア	イ
	¥ 18,000	¥ 440		¥ 4,950,000	¥ 1,110,000		5	3

5

(1)	借方	貸方
a	仕入 460,000	繰越商品 460,000
	繰越商品 490,000	仕入 490,000
b	貸倒償却※ 31,000	貸倒引当金 31,000
c	減価償却費 195,000	備品 195,000
d	現金過不足 9,000	雑益 9,000

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

貸倒引当金		4
6/12 売掛金 32,000	1/1 前期繰越 50,000	
12/31 次期繰越 49,000	12/31 貸倒償却※ 31,000	
81,000	81,000	

売上		11
12/31 損益 7,580,000		7,580,000

- (3) 損益計算書
近畿商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費用	金額	収益	金額
売上原価	4,860,000	売上高	7,580,000
給料	1,320,000	受取利息	21,000
(貸倒償却)※	31,000	(雑益)	9,000
(減価償却費)	195,000		
支払家賃	768,000		
消耗品費	50,000		
雑費	36,000		
(当期純利益)	350,000		
	7,610,000		7,610,000

※ 貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。